

令和 8 年度 眉山未来プロジェクト

令和 8 年度
第 1 回 眉山活性化委員会

- ▶ 眉山未来プロジェクト経緯
- ▶ 民間活力導入可能性調査
- ▶ 実証実験及び効果検証
- ▶ 広報
- ▶ 庁内連携/その他
- ▶ 事業スケジュール

令和5年度

- ・徳島市緑の基本計画策定
- ・眉山公園サウンディング型市場調査実施

令和6年度

- ・眉山海月ランドオープン
- ・眉山活性化基本方針素案作成
- ・眉山未来プロジェクト立ち上げ

令和7年度

- ・プロジェクトロゴ「眉山日和」作成
- ・実証実験イベント支援「キッチンカー出店支援」
- ・実証実験キャンプイベント「眉山キャンプ」
- ・実証実験にぎわいイベント「眉山日和」
- ・「眉山日和HP/眉山日和Insta」運用開始
- ・民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査実施



令和8年度眉山未来プロジェクト



民間活力導入可能性調査の目的

これまでの「公設公営」に代わる、民間事業者等のノウハウや資金を活用した事業スキームの導入可能性について検証

都市公園の整備、管理に関するPPP/PFI手法

多様な手法

パークPFI

P-PFI

(公募設置管理制度)

設置管理許可

指定管理者制度

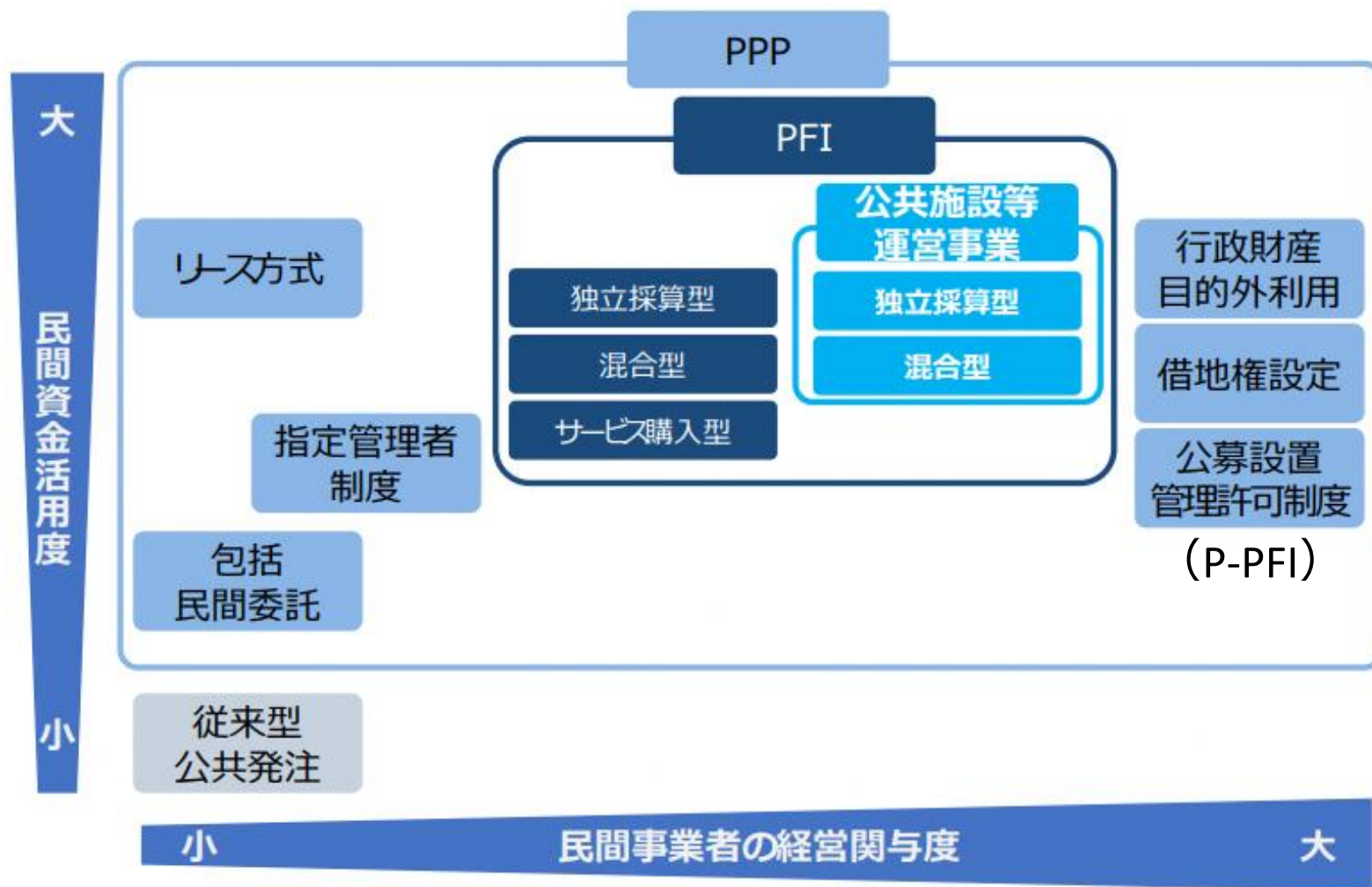
PFI事業

(コンセッション含む)

都市公園リノベーション協定制度 等

眉山公園にとって

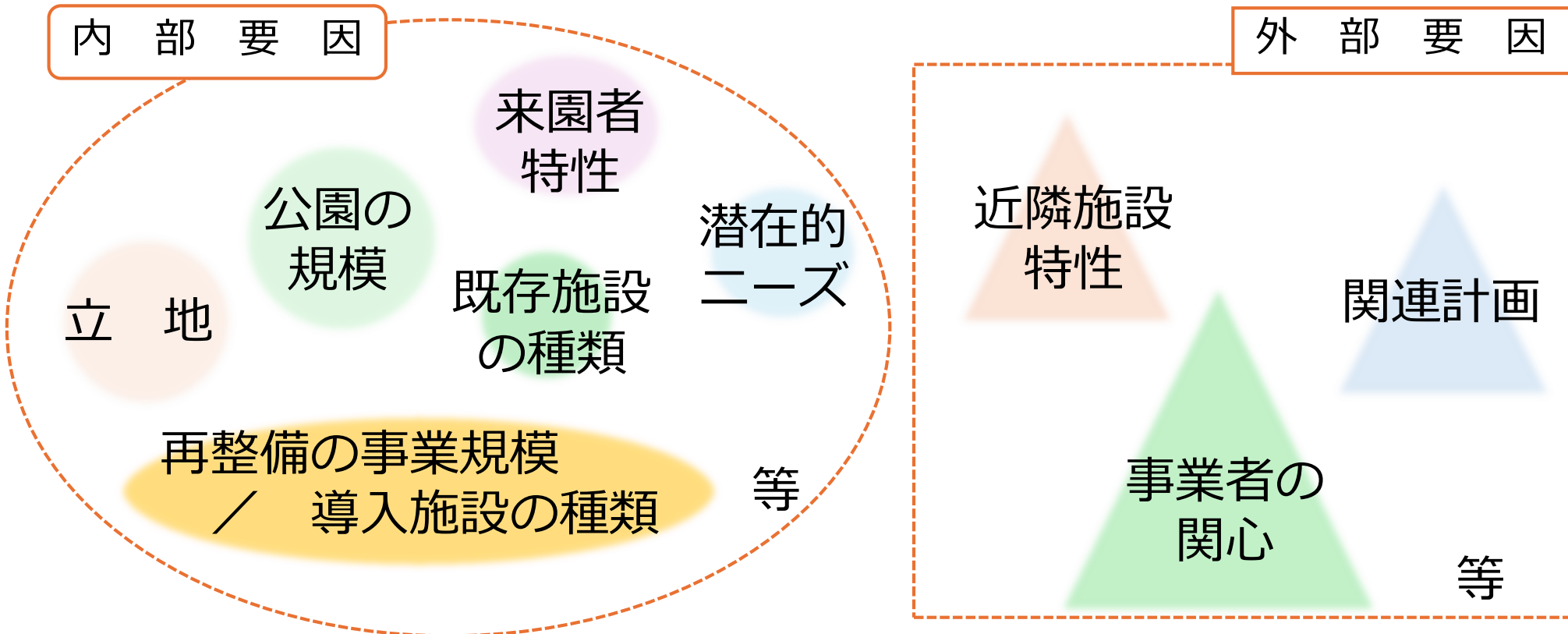
最適な整備・管理に関するPPP/PFI手法の選択



※事業案件ごとに官民のリスク分担が異なることから、必ずしも上記イメージ図に合致するわけではない。

引用『PFI事業の概要（内閣府官民資金等活用事業推進室 2023年7月）』

整備・管理に関するPPP/PFI手法の選択

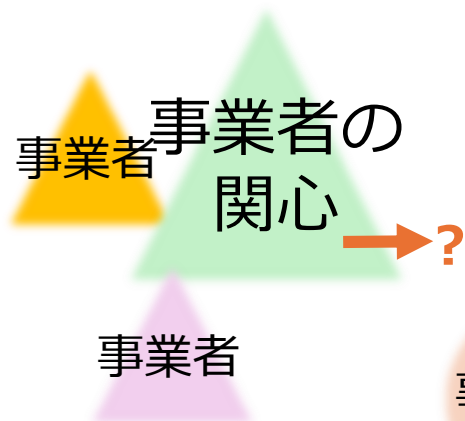


▶ 適切なPPP/PFI手法の選択に大きく影響

より効果のあるPPP/PFI手法の選択のために

▶ 民間事業者の意向把握調査

眉山公園の再整備に関心のある事業者を調査し、関心の程度や関わり方の希望、民間事業者の考えなどを把握する。



事業規模？

整備内容？

運営方法？

事業性？

自由度？



II サウンディング等の民間意向調査 (事業の方向性の検討)

継続的な意向調査
の実施

基本方針の
最適化

条件等の調整

事業スキームの
選択

事業者の
関心

▶ 民間事業者の関心の最大化

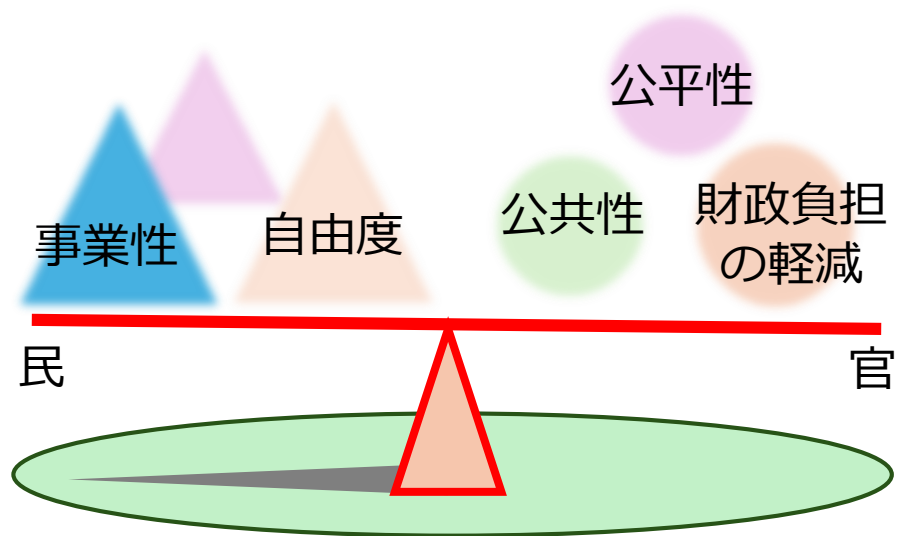
民間事業者が参画しやすい事業となるように、

- ・ 事業スキームの確定
- ・ 整備内容の明確化
- ・ 公募条件等の調整

などを具体化

最大化の手法として、業者向けワークショップ・トライアルサウンディングなどの手法がある

PPP/PFI手法の実現に向けて



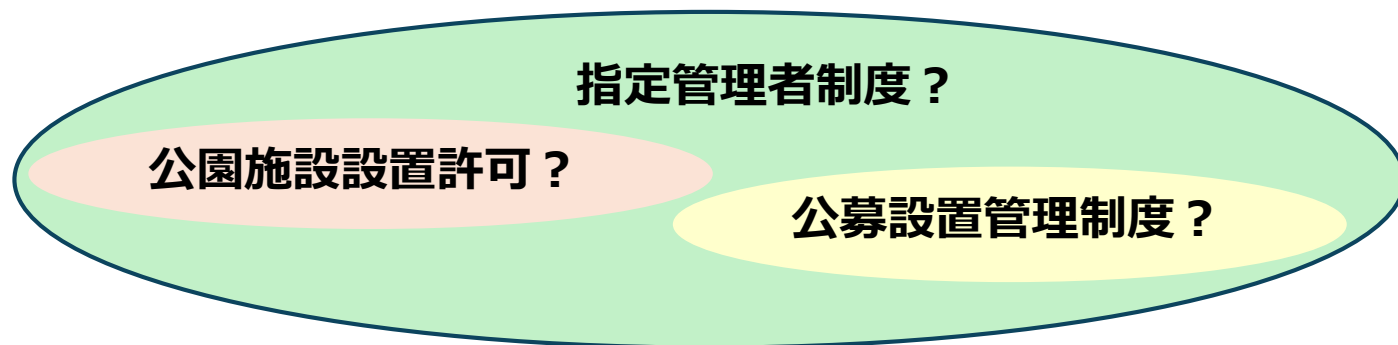
公共スペースとしての公園の役割と
事業者が継続可能である採算性の
バランスが重要



バランスが崩れると・・・
官民連携事業が停滞

柔軟な事業スキームと計画性が重要

眉山公園全体を同じ事業スキームで考えるのではなく
必要に応じて、エリア毎に適切な事業スキームや進め方を採用することも可能



▶ 前提条件等の整理

→ 関連計画、現況データ、関係法令の整理

▶ 民間意向調査の実施

→ 事業の方向性の確認に必要な民間事業者への意向調査の実施

▶ 事業スキームの検討

→ 事業範囲や期間・事業手法及び官民のリスク分担等の整理

▶ 基本方針のブラッシュアップ

→ 官民連携実現に向けて、基本方針のブラッシュアップ

▶ 財政負担額の算定

→ 総事業費の算出及び補助金の適用可能範囲等について整理

▶ 次年度以降の取り組みの整理

→ 想定された事業スキームの実現に向けた取り組みについて整理

公募型プロポーザル方式により事業者を決定

キッチンカー出店支援の継続

- ・ 公園使用料の免除
- ・ 物販行為のみの許可
- ・ 徳島県キッチンカー協会との連携



	4月	5月
出店者数	3	2
出店回数	10	7

複数回出店いただいている
キッチンカー事業者も・・・

課題

- ・ 出店の認知の低さ
- ・ 電源や休憩場所の確保
- ・ 天候や気候の影響

出店認知率の向上に向けて...

新規取組

- ・ 庁内協力体制の構築

(出店案内情報の掲示・SNS等による告知の連携 等)

行為	基本ルール	特例ルール	許可条件（※抜粋）
BBQ 花火（手持ち）	×	○	火気取扱責任者 火気取扱ルールの提出
キャンプ	×	○	夜間責任者の配置 ゴミの処理
物販行為 （興行行為）	△ ※副申が必要	○	公園使用許可、及び取 扱品目の届け出が必要
夜間音楽イベント	△	○	市街地への音が届かない 範囲のみ

※アンケートの実施、来場者数の報告、管理者との事前協議が必要

個人での申請は不可、不特定多数者を対象としたイベントのみ許可対象

通常の公園使用許可では、難しい内容について

眉山未来プロジェクトの一環として取り組むことで可能に

▶ イベント時の備品の貸出

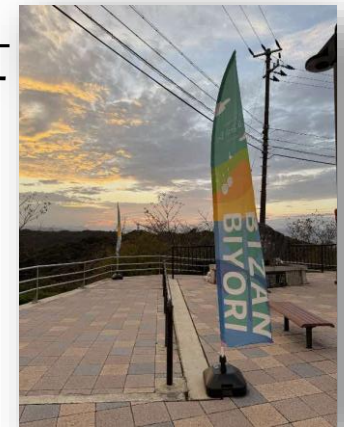
備品	数量	規格（W*D*H）
イス	70	
長机	30	1800*450*700
デザイナーズチェア	2種類	
簡易ステージ	9	900*900*100
パーテーション	4	910*350*2000
ゴミ箱	3	
のぼり	50	



令和7年度 イベント「眉山日和」を実施した際に使用した備品について眉山公園でのイベント申請者への貸出が可能

▶ 公園管理の柔軟な対応

除草、支障木の伐採など、イベント開催に必要な対応の実施
既存の電源、水道施設の利用



イベント名「眉山日和」

実施期間：令和7年10月18日（土）10時～21時
令和7年10月19日（日）10時～17時

来園者数

10/18
1,195人
10/19
1,489人

合計**2,684人**



モビリティ



モバイル遊具



出張マーケット



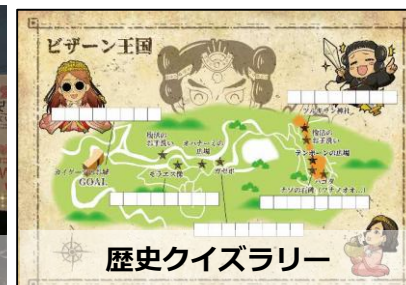
竹工作WS



デザイナーズ
チェア



焚火トークナイト



歴史クイズラリー

- ▶ 来園者アンケート 542名
- ▶ 参加事業者ヒアリング
- ▶ 人流測定 等実施



- ▶ イベント組み合わせによる来園者/滞在時間増及び満足度向上
- ▶ 周遊のきっかけづくり
- ▶ 園路勾配等公園施設の課題
- ▶ モビリティ導入の可能性
- ▶ 天候による影響

イベント名「眉山日和」 実施期間：令和8年秋ごろ

ステージイベント
ライトアップ
その他



びざんミーティング



効果検証

人流調査、滞在時間調査、来園者アンケート、
事業者ヒアリング

- ▶ 眉山でのステージイベント開催の課題把握
- ▶ イベント開催時の移動手段及び駐車場課題の把握
- ▶ 夜間イベント開催時の課題把握
- ▶ 眉山における持続可能な利活用推進策

眉山日和（プロジェクトロゴ）



■ 目的

眉山の価値を高める

- ▶ 多くの方に興味をもってもらうきっかけとなる情報発信
- ▶ 今の眉山の魅力、プロジェクトの活動を発信
- ▶ 眉山の未来を想像してわくわくするような広報

■ 昨年度の課題

新たなコンテンツを立ち上げるも**認知度が課題**

■ R 8 年度の目標

眉山の魅力の発信を継続し、多くの人に知ってもらう。

■ ホームページ「眉山日和」

- ▶ 人物にスポットを当てたマガジンの更新
おすすりめスポットの紹介
- ▶ プロジェクトの進捗を更新

⇒現在の眉山の魅力を紹介



眉山で行うのは、
自然と一体になる
「体験型ヨガ」

本誌さんがマガに出会ったのは、約5年前。
このころ、北アワカ島のお寺を訪れた際、海辺で自炊していたのが
参加したことがきっかけでした。

「ものすごく気持ちよかったです。これはちゃんと学びたいなと思ったんです」
現在はお寺や定期館にヨガクラスを兼ねながら、年に1〜2回、条件が揃った日にだけ眉山で「お寺見学ヨガ」を開催しています。
満員の夜、着ますますする美しい夜景、海岸は、山頂のバードビューの
ステージ。

「眉山のヨガは、ポーズと呼吸というより『体験型』。景色、風、匂い、肌触、音響……五感すべてを使って、その場所と一体になる感覚を大切にしています」



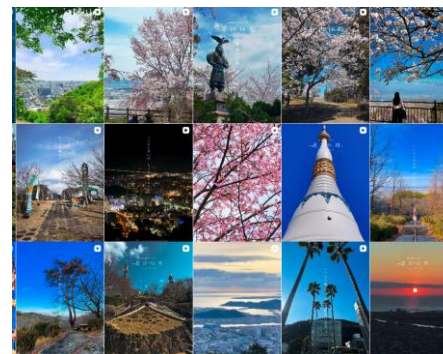
■ SNS

「眉山日和」インスタ

→眉山の美しさを映像で発信

「眉山未来プロジェクト」インスタ

→プロジェクトに関する内容を発信



■ 関係団体との連携

▶ 庁内連携

- 他県でのSNS普及活動
- リポストによる発信

▶ 徳島市HPトップに掲載 等

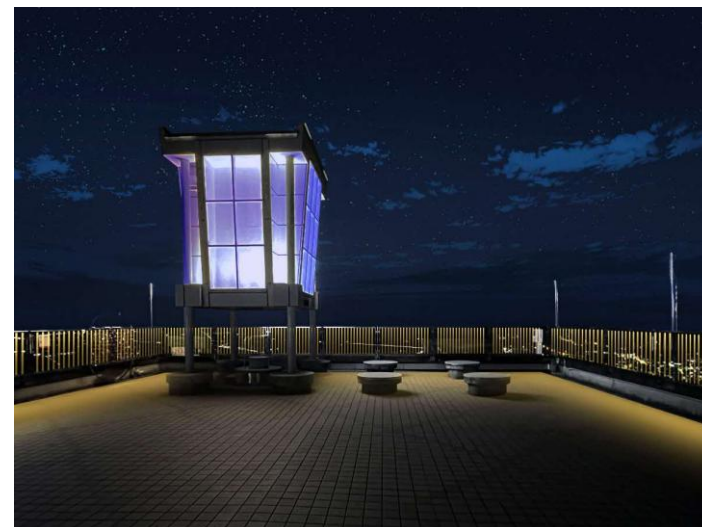
▶ 関係団体/インフルエンサーとの連携



- ▶ LED景観整備
 - ・ 阿波おどり会館
 - ・ 眉山ロープウェイ
 - ・ 眉山山頂鉄塔ライトアップ

- ▶ 広報/イベント開催連携

- ▶ 情報共有
 - ・ MICE開催、クルーズ入港予定
 - ・ 大規模イベント
 - ・ アクセス道路

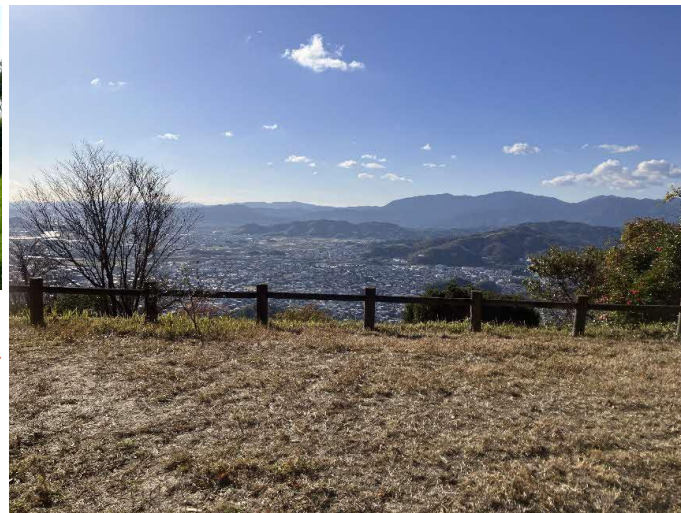


▶ くつろぎ空間の確保

- ・ 雑木伐採
- ・ ベンチ設置/修繕



滞在時間の増加



▶ 効果的な日常管理

- ・ 指定管理者との連携
- ・ 支障木/老朽高木等伐採



眉山未来プロジェクト 事業スケジュール



▶基本方針策定

▶実証実験（継続して実施）

▶サウンディング

▶民間活力導入可能性調査

▶サウンディング等

▶民間事業者公募

▶実施設計

▶第1期事業

▶1期リニューアルオープン

▶第2期事業

▶2期リニューアルオープン

※広報、利活用推進、実証実験等は継続して実施